朝鮮豆知識
7
民　俗

朝鮮・平壌

チュチェ106(2017)

朝鮮豆知識
7
民　俗

朝鮮・平壌
外国文出版社
チュチェ106(2017)

目　　次

１．朝鮮の民俗はどんな民俗ですか？

朝鮮の民俗は、5000年の悠久な歴史の流れの中で形成され強固になった単一民族の固有な民俗であり、侵略勢力の打ち続く侵入を撃破する反侵略闘争と燦然たる文化創造の過程に生み出された伝統的な生活風習です。

日本帝国主義の朝鮮占領(1905～1945)によって朝鮮の民俗は一時精彩を欠きましたが、解放後、民族的形式に社会主義的内容のこもる民俗として立ち直り、発展を続けています。

２．朝鮮の民俗はどう区分されますか？

朝鮮の民俗は、衣服、食生活、住居生活、家庭生活、共同生活、民俗祝日などの風習、それに挨拶法、民俗遊戯などに区分されます。

３．衣服の風習はどんなものですか？

朝鮮人に特有の民族衣服の基本的な枠組みは、古代に出来上がりました。

人民の勤勉な労働生活の中で生まれ、民族的特性

に即して発展してきた朝鮮人の衣服は、古代から男子服と婦人服の区別がはっきりしていました。

朝鮮では、年齢に従って衣服の色彩と形態を異にし、夏季は主として白色の衣服を着用しました。

人々は、素朴、地味ながらも文化的な衣服を、いつも清潔・端正に着こなしてきました。

４. 男子の民族服はどんなふうに出来ていますか？

男子の民族服は、パジ、チョゴリ、トゥルマギからなっていますが、時代及び身分によって違いがあり、種類と形態も多様でした。

今日も、男子はパジ・チョゴリを好んで着用しています。

５. 婦人の民族服はどんなふうに出来ていますか？

婦人の民族服はチョゴリ、パジ、チマ、コートからなっています。

このような構成は、古代から継承された伝統的なものです。

チョゴリの形態は基本的には男子用と同じですが、全般的に丈が短く、とりわけ色彩や模様を適切

に配して美しさを強調しています。

高句麗（コグリョ）壁画古墳に見られる婦人のチョゴリは、ほとんどが膝まで下がっていますが、朝鮮封建王朝時代(1392〜1910)には丈が短くなり、近世に至っては、衣服が全般的に封建的な虚飾や繁雑さをはぶき、チョゴリも着用に便利で、活動が容易な形態へと変化しました。

婦人のチョゴリが男子用のそれと画然と区別されるのは、回装(縁飾り)を付ける風です。

回装を付けるのは元来、汚れ易い部位に他の布を重ねて、付け替えが出来るように工夫したことに由来していますが、朝鮮封建王朝時代には、チョゴリを飾る重要な手段とされるようになりました。

回装は、チョゴリの袖口、襟、結び紐、脇に、それぞれ赤紫またはチョゴリの地とは異なる色の布を付けたもので、このようなチョゴリを三回装チョゴリと呼んでいます。三回装は、地色を草緑色としたものが最上とされました。

婦人のチョゴリは季節によって、チョクサム(ひとえのチョゴリ)、あわせのチョゴリ、刺し子のチョゴリ、綿入れのチョゴリなどの違いがあります。

６．朝鮮チマ・チョゴリの特性は何ですか？

第一の特性は、独特の形態美にあります。

造形的によく整った短いチョゴリの細部的形態は、すっきりと長いチマの輪郭的な形態と見事に調和して、独特な味わいをかもし出しています。

第二の特性は、チマ・チョゴリの形態上の比例と、それがつくり出す立体美にあります。

概して、著しい立体的形態を持つのが欧米諸国の民族衣服の特徴であるのに反して、アジアの国々の民族衣服は、おおむね平面性を特徴としています。

ところが、朝鮮チマ・チョゴリは、平面性と立体性が結び付いた独自の形式を持っているのです。豊満な立体感を見せるチマの上にぴったりと体に付いたチョゴリは異彩を放ち、人の目を引くのです。このような朝鮮チマ・チョゴリの形態美は、東洋と西洋の衣服の両様の美を集大成したものだと言えるでしょう。

第三の特性は、美しく上品な色合いにあります。

第四の特性は、高度の造形的技巧が垣間見られる、ユニークな色の配合にあります。

朝鮮チマ·チョゴリの色の配合は、二つ以上の原

色をもってなされ、その場合基本色を巧みに生かす方向で原色を相互に対照させ、原色以外の幾つかの色を配する場合も、基本色を生かし、他の色はそれに従属させるのを原則としています。

７．伝統的な服装で重要なのは何ですか？

　朝鮮人の伝統的な衣服風習で重要なのは、衣服を多様かつ美麗に着こなすことです。

　昔から朝鮮人の服装には、男子用と婦人用の違いがはっきりしており、年齢の相違によっても、衣服の色と形態はそれぞれにふさわしく選択されました。

　また、四季それぞれに応じた衣服が着用されました。

　季節によって生地の質や色を異にし、春と秋、冬は木綿や絹の衣服を、夏はカラムシ織りや薄い麻布の衣服を着用しました。

　中でも春の季節となると、アンズ、ナシ、モモ、ツツジなどとりどりの花の色や、木の葉が芽ぐみ、色をつけはじめる自然の情趣を強調するような色のチョゴリが好んで着用されました。

　朝鮮人の伝統的な服装で今一つ重要なのは、衣服を常に清潔・端正に着ることに習慣付けられている

ことです。

古い昔から清潔を好んだ朝鮮人は、たとえ上質な衣服は着られないほど貧しくても、洗濯に心がけ、手入れをきちんとし、身なりを端正にして生活してきました。

８．食生活風習にはどんなものがありますか？

朝鮮民族は、5000年の悠久な歴史の中で固有の食生活風習を生み出し、発展させてきました。

朝鮮には飲食物の種類が多く、特色ある食べ物もいろいろとあり、調理法も多様です。

朝鮮民族の食生活風習には、日常食、特別食、飴・菓子類、飲み物などの習俗、それに食生活慣習と食事作法があります。

９．日常食にはどんな食べ物がありますか？

昔から朝鮮人は、飯、汁、キムチその他一連の副食物を日常食としています。

ここで主食は飯であり、副食物は汁、味噌・醤油、キムチその他です。

朝鮮人の食生活で飯、汁、味噌・醤油、キムチが

基本的な食べ物になったのは、朝鮮で早くから、アワ、モロコシ、大豆、オオムギ、稲を主要農産物として栽培し、白菜や大根などの野菜類も広く栽培したことと、朝鮮人の生活感情や味覚ともかかわっています。

10. 飯にはどんなものがありますか？

飯は朝鮮人の基本的な主食です。

古くから朝鮮人は、朝、昼、夕の３度飯の膳を用意するのを、一つの食生活風習としています。

飯は穀物の種類により、米飯、ムギ飯、アワ飯、モロコシ飯などと呼び、それらを混ぜた程度により五穀飯、雑穀飯、ムギ・モロコシ飯などと言っています。

11. 朝鮮の味噌・醤油はどんな基礎食品ですか？

味噌・醤油は朝鮮人の食生活に不可欠の重要な基礎食品で、こうじと塩を主原料にして作った発酵加工品です。

味噌・醤油には、味噌と醤油のほかさまざまのトウガラシ味噌があります。

朝鮮では古くから味噌・醤油づくりが多様に発達し、食生活に広く利用されています。

味噌・醤油は、汁物や煮物など副食物の基本調味料であり、トウガラシ味噌はそのまま副食物とされてもいます。

12. キムチはどんな食品ですか？

キムチは朝鮮人の好む副食物の一つで、白菜、大根その他の野菜に香辛料や塩辛類を混ぜて発酵させた野菜の加工品です。

朝鮮でいつ頃からキムチを漬けるようになったかは明らかでありませんが、文献資料によると、高麗(コリョ)時代(918～1392)に大根のキムチが漬けられたとの記録があり、朝鮮封建王朝時代(1392～1910)には各種の美味なキムチが現れています。

キムチには多くの種類がありますが、キムジャン・キムチ(越冬用キムチ)を最高としています。

冬から初春にかけて人々が好んで食べるこのキムチは、ビタミンCが豊富で、Na、K、Ca、Mg、Feなど多くの塩基性無機質成分を含んでいます。塩基性食品であるキムチは、酸性食品の飯や肉類、魚類な

どの食品と調和して、人々の食欲をそそっています。

　アメリカの健康専門誌『ヘルス』は、朝鮮のキムチを世界５大健康食品の一つに数えています。

　2015年12月、ユネスコ（国連教育科学文化機関）は朝鮮のキムチ作り風習を世界無形文化遺産として登録し、インターネットを通じてキムチ作りを広く紹介、宣伝しています。

13．特別食にはどんな食べ物がありますか？

　婚礼や祝祭日などに用意する特別食は、その種類と調理法が多種多様です。

　特別食には、トク（餅）、クッス（麺）などの主食物とクイ（焼き物）、タン（汁物）などの副食物があります。

　特別食で代表的なものはトクです。

14．トクはどんな食べ物ですか？

　トク（餅）は穀粉を蒸してこねたものや、穀物を炊いて搗いた食べ物で、主食に替わる基本食品の一つです。

　トクの種類は非常に多いです。

古くから朝鮮人は、うるち、もち米、アワその他の穀物に、独特な香りと風味を持つ野菜や果実、天然の色素を加えて、栄養価が高く、味のよい、見た目にも美しいさまざまのトクを作って食生活に広く利用しました。

うるち粉で作るトクの代表的なものはソンピョン（松餅—松葉を敷いて蒸した餅）であり、もち米を蒸して搗いたトクの代表的なものはチャルトクです。

15. クッスはどんな食べ物ですか？

クッス（麺）は穀粉を水でこねて紐状に伸ばした食品、またはそれで作った食べ物で、古くから朝鮮人が好んだ主食物の一つです。

クッスは、材料と作り方、地方や季節によって、味や香り、冷温のほど、汁の量、調味料、飾り薬味などに違いがあります。

古くから朝鮮人は、婚礼祝い、満１歳の初誕生祝いにはクッスを欠かさず出すのを一つの風習としてきました。

クッスは、大きく機械打ちクッスと手打ちクッス

に分けられ、材料はソバ、コムギ、トウモロコシ、ジャガイモなどであり、作り方により冷麺、温麺、ピビム麺などがあります。

ソバクッスの代表格は平壌（ピョンヤン）冷麺です。

16．平壌冷麺はどんなクッスですか？

平壌冷麺は、朝鮮人がかなり古くから愛好した民族食品です。

古くから平壌冷麺が世に広く知られたのは、クッスの材料と汁、具、飾り薬味、クッスを盛る器、クッスの盛り付けなどに特徴があるからです。

平壌冷麺の主な材料はソバです。ソバは滋養分に富み、長寿食品として知られてきました。平壌冷麺は、腰が強すぎず、つるつるして口あたりがよく、しこしこと歯ごたえがあります。ソバ特有の風味はまた人々の食欲をそそります。それに汁の味がさっぱりとし、独特の甘味もあります。

器はすがすがしい趣の真鍮製平鉢を用い、これまた人々の食欲をそそるのに一役買っています。

平壌冷麺は味はもとより、その盛り付けにも特色があって、朝鮮クッスの代名詞、民族料理を代表す

るすぐれた食品の一つとされています。

今日、朝鮮では平壌の玉流館(オンリュ)をはじめ、多くの料理店で平壌冷麺が提供され、人々の食生活に潤いを添えています。

17. 平壌の特産料理にはどんなものがありますか？

平壌の特産料理には平壌冷麺以外にも、緑豆チジム(水にといた緑豆粉を油を引いた鉄板の上で焼いたもの)、平壌温飯(汁掛け飯)、大同(テドン)江ボラ汁などがあります。

18. プルゴギとはどんなものですか？

プルゴギ（焼き肉）は古くから朝鮮人が好んだ料理です。

朝鮮人は火の利用法を知って以来、肉類の焼き物を好んで食べるようになりました。

プルゴギは、栄養にすぐれ、その味と独特な香気によって、人々の食欲をそそる料理です。

朝鮮の焼き肉の主な材料は、牛肉、豚肉、アヒル肉です。

19. 神仙炉とはどんなものですか？

いろいろな獣肉や魚貝、野菜、山菜、果実などの一次加工品を炭火焜炉付き寄せ鍋具にぐるりと並べ、適当な調味料を加えてぐつぐつ煮て食べる料理で、その鍋を神仙炉と呼んでいます。

独特な風味、高栄養によって知られた特色ある朝鮮民族料理の一つです。山海の珍味を一つの鍋に寄せ集めたと言われるほどの抜群の味覚と、鍋の特殊な美しい様態により、神仙炉は宴席をはじめさまざまの機会に、卓上鍋料理として喜ばれています。

20. コムとはどんなものですか？

朝鮮人は昔から強壮剤として、コムを利用しています。

コムとは、ニワトリ、ウサギなど小型の動物の内臓を除き、その中にもち米やニンニクなどを入れて煮詰めた健康食品です。

21. チムとはどんなものですか？

チム(蒸し物)とは、獣肉や魚肉、野菜などを手入れして蒸し釜に入れて十分に蒸したものです。

チムは蒸気でふかすので、食品がこげず、表面に厚い皮質が出来ないうえ、食品が固定状態のまま熱を受けるので、形態が崩れるようなことがありません。

チムは、その作り方により３種に大別されます。

その一は、鯛チムや丸とりチムのように、材料を丸ごと大皿に乗せて蒸すチムであり、その二は、バラ肉チムや牛尾チムのように、材料をぶつ切りにし、水を掛けて煮詰め、水分を材に十分に吸収させたチムであり、その三は、ナマコチム、アワビチムのように材を薄く切って蒸したものです。

22. フェはどんなものですか？

フェ(なます)は、新鮮な獣肉、魚肉、貝などを刻み、生のまま酢トウガラシ味噌や酢醤油に浸して食べる料理です。

フェの種類はその材によって分類されますが、牛肉フェ、臓物フェなどの肉フェ、魚肉を材とする鮮魚フェとタコフェ、イカフェ、アワビフェ、ホタルガイフェ、カキフェなどが有名です。

23．飴・菓子類と飲み物にはどんなものがありますか？

朝鮮人が伝統的に作って食べている飴・菓子類には、飴、ユミルグァ(油密菓)、ヨッカンジョン（飴おこし）、タシク(茶食)、スクシルグァ(熟実果)、チョングァ(正果)などがあります。

飴は、最も普通の飴・菓子類の一つで、もち米飴、モロコシ飴、落花生飴、クルミ飴、ゴマ飴などがあります。

ユミルグァは、コムギ粉をハチミツでこね、油で焼いた菓子です。

ヨッカンジョンは炒ったゴマや大豆などを水飴で固めたものであり、タシクは澱粉、クリ、黒ゴマ、松の花粉などを水飴またはハチミツでこねて型にとって焼いた菓子であり、スクシルグァはクリやナツメを煮たり蒸したりしてハチミツと桂皮粉で混ぜ合わせ、松の実の粉をまぶした菓子です。

チョングァは、朝鮮人参、ショウガ、タケノコ、アンズ、モモ、ブルーベリー、ミカンの皮などをハチミツで混ぜ合わせて煮詰め、固めたもので、その乾燥品は乾チョングァと言っています。

飲み物には酒類、茶、ファチェ(花菜)、スジョングァ(水正果)などがあります。

24. 酒にはどんなものがありますか？

酒は朝鮮で久しい以前から作られた飲み物の一つです。朝鮮の酒は、マッコリ(濁酒)、清酒、焼酎に大別されます。

25. マッコリはどんなものですか？

マッコリ（濁酒）は、うるち、ムギなどの澱粉質材料にこうじを加えて醸造した液の、かすをこさないままの発酵飲料です。

マッコリは遠い昔から作られて愛好されてきた民族飲料です。

色は乳色で、味は甘すっぱく、爽快な感じを抱かせます。

26. 朝鮮の銘酒にはどんなものがありますか？

朝鮮の銘酒には、平壌焼酎、高麗酒、甘紅露、大平(テピョン)酒、開城(ケソン)高麗人参酒、野生朝鮮人参酒、仁風(インプン)酒、白頭山(ペクトゥサン)ブルーベリー酒などがあります。

27. 朝鮮の茶文化はどのようなものですか？

朝鮮で茶を飲む風習は三国時代に始まりました。

最初は仏教寺院の僧や富裕層の人たちが愛用し、やがて高麗時代(918～1392)に盛行するに至りました。

朝鮮封建王朝時代には、木の実や葉、根など薬効のあるものを選んで茶としました。

朝鮮の茶は他国のもののような興奮剤を主としたものではなく、心臓や胃腸を丈夫にする薬効成分を多く含んだものであることを特徴としています。

人参茶は、朝鮮人参の細根を材料とした茶で、強心・強壮剤として、また、消化不良、貧血、神経系統の疾病などの治療にもすぐれた効用を持っています。

五味子茶は、甘くてさわやかな舌ざわりのする茶で、収斂性の咳、喉のしゃがれ、冷や汗が続く時などに少しずつ飲むとよいです。

決明子茶は、特有の味と香りを持つ茶で、目を明るくし、肝臓を保護するのに役立ちます。

松葉茶は、ビタミンCが多く、消化を助け、関節炎、高血圧、肝炎などの予防に有効です。

ムギ茶は、栄養素に富み、味が香ばしく、消化を助けます。

柿の葉茶は、ビタミンCが多く、高血圧を予防し、動脈硬化、胃出血、糖尿病、脳出血などの治療効用が大きいです。

28. スジョングァはどんなものですか？

スジョングァ（水正果）は、干しガキ、ショウガ、桂皮、砂糖、ハチミツなどを材料とした飲み物で、一名コッカムジョングァ（干しガキ正果）とも言われます。

古くから伝わる朝鮮民族特有の飲み物で、甘くて香りがよく、さわやかな特殊な味を持ち、正月料理の一つとして喜ばれています。

29. 朝鮮の食事作法はどんな特徴を持っていますか？

古来、礼節を貴ぶ朝鮮民族は、食事作法でも高尚な風習を保っています。

まず、膳を囲んで座り、目上の人が先に箸を取るのを待って、目下の人たちが食事を始めることを当

然の礼儀としています。

食事は端正な姿勢で、和やかな雰囲気に包まれて行います。

客がいる時は、主人がまず箸を取ってから客に勧め、美味な、または珍しい料理の皿を客の近くへ移して、たくさん食べるよう気を配ります。主人側は客が自宅でのようにゆったりとした気分で食事をするよう、楽しく和やかな雰囲気をつくるべく努め、客が心置きなく十分に食事をとれるように先に箸を置くことはつつしみます。

30．朝鮮の住居生活風習の特徴は何ですか？

朝鮮人の住居は伝統的に平屋で、オンドル部屋からなっていました。

住居の構造は、地方それぞれに幾分違いはありますが、オンドルという暖房方式は共通しています。

現在の都市の住居はほとんどが多層アパートですが、農村の住居は今なおオンドル方式の平屋づくりが大勢を占めています。

朝鮮では引越しの際、隣近所の人たちが総出で荷運びを手伝い、マッチその他簡単な生活用品を贈り

物にして新しい入居者を祝福する風習があります。

家の出入りでは、履き物を脱いで入り、オンドル部屋生活では、かまど側の温かい座は老人に勧め、若い人たちはその周辺に座るのが通例です。

31．オンドルはどんなふうに出来ていますか？

床に座って生活する朝鮮人の風習に即して工夫され、発展してきたオンドルは、床を暖めて室温を高める熱輻射式暖房設備です。

オンドルは大きく、かまど、焚き口、床下煙道、煙突からなっています。

焚き口で火を焚くと、焚き口から部屋の床下へ出た熱い煙は、四方に巡らされた煙道を通り抜けて、煙突から排出されますが、床下を通る際は温石を熱するので室温が上昇します。

オンドルはクドゥルとも言われますが、元来クドゥルは温石つまりクウンドル（焼け石）と呼ばれていたのが語音が変化して、クドゥルと呼ばれるようになったと言います。

朝鮮民族が発明したオンドルは、床が高温に保たれて、床下からの湿気と冷気を防ぐので、さまざま

の疾病の予防と治療にすぐれた効果があります。

構造が簡単で、健康と治療にもよいことで、オンドルは壁付き暖炉やペチカで空気を暖める洋風の暖房設備より熱効率が高く、便利なので、世界的な関心を呼んでいます。

世界の一部の国では、朝鮮のオンドルを真似た電気器具を製作、導入して「オンドル」「クドゥル」と呼び、辞典の見出しにもなっています。

オンドルは欧米諸国でも広く普及していますが、国際標準化機構（ISO）は、オンドルの効用を評価し、オンドルシステムの７項の規準を国際規格として定めました。それは、このシステムの定義、暖房の効果性、図案、動力学的分析、設置、運営などに関するもので、世界の国々の住居建設に導入するうえでの参考となっています。

朝鮮では今日、近代的なセントラルヒーティング形式のオンドルが広く採用されています。

32. 家屋の建設ではどんな風習がありますか？

朝鮮人は古くから静かな日当たりのよい所に敷地を定めて、家屋を建てました。

実際に、一般に見られる自然集落は、ほとんどが後ろに山を控え、前方に小川が流れて平地が広がっている地帯にあり、家の向きはおおよそ南向きです。

家を建てる時は、隣近所の人たちが進んで協力する風がありました。

骨の折れる仕事、手の汚れるような仕事も尻ごみせず力を貸し、喜びも悲しみも分かち合って過ごすことを隣人の道義と見なす朝鮮人は、このように他人の家屋の建築でも、村人が総出で手伝ったものです。

33. 家庭生活風習で重要なのは何ですか？

朝鮮人の先祖代々の最も重要な家庭生活風習は、誠意を尽くして父母に仕え、老病を患う父母の介護に努め、亡くなった父母を敬虔に追慕することであり、他方、わが子を深く愛し、子女の教育に心がけることも朝鮮人の重要な家庭生活風習です。

34. 朝鮮の女性は結婚すると姓を変えますか？

結婚すると夫の姓に変える一部の国のしきたりとは異なり、朝鮮の女性は結婚後も姓を改めることはしません。

35．満１歳の初誕生祝いはどんな風習ですか？

子供が生まれて最初に迎える誕生日を盛大に祝うのは朝鮮の重要な風習の一つです。

この日、わが子にきれいな衣服を着せて祝膳の前へ座らせ、膳にはいろいろな料理とともに幾つかの物品を置き、幼児が最初に手に取る物の象徴する意味をもって、わが子の才能や将来を予想しもする楽しい風習です。

36．婚礼はどんなふうに行われますか？

古来朝鮮では、見合い、婚約、式日の取り決め、結納、結婚式の順で執り行われます。

結婚式はまず嫁方の家で行い、ついで婿方の家で行うのが通例でした。

嫁方における礼式は、花嫁を連れに来た花婿を迎え入れることから始まり、奠雁の礼、交拝の礼、大膳受けの礼の順で進められます。

奠雁の礼は、花婿が赤い風呂敷に包んだ生きた雁（または木製の雁）を花嫁の母親に捧げる礼式です。これは雁の雌雄が対をなして仲良く生きる動物だとし、それを夫婦の親和と信頼、貞節のシンボルと

考えていたことに由来しています。
交拝の礼は、花婿と花嫁が青糸紅糸をあしらったヒサゴの杯に酒をついで酌み交わす礼であり、夫婦の結び付きを示すものとして、「合巹の礼」とも称しました。
交拝の礼についで、花婿花嫁が室内に入って並んで座る房合の礼を行い、その後花婿花嫁が大膳（祝膳）の前に座り、披露宴が始まります。
嫁方での礼式が終わると、今度は婿方における礼式が行われます。この場合花嫁が花婿に連れられて婿方の家へ向かう「新行」に始まり、大膳受け、祠堂拝礼、舅姑の礼の順で進められます。
花嫁は実家を出るに先立って、両親に大礼（平伏の礼）をし、馬上の花婿と並んで輿に乗り、目上の付き添い人に守られながら婿方の家へ向かいます。
婿方の家へ到着すると、大膳受けを行った後、婿の先祖に挨拶する祠堂拝礼を行います。ついで花婿の父母に挨拶する舅姑の礼を終えた後、花婿の一家親族の一人一人に挨拶をします。
結婚式では、花婿は紗帽冠帯（官服と紗の帽子。結婚式に着る装束もこれに類した）し、花嫁は七宝

丹粧(いろいろの飾り付けをした婦人用衣装)しました。

今日、朝鮮では民族的伝統を生かしながらも虚礼虚飾をつつしみ、時代的美感に即した婚礼が行われています。

花嫁は美しいチマ・チョゴリで身を包み、頭髪と胸には花を飾り、花婿は伝統的なパジ・チョゴリまたは洋服を着用しています。式は、親類や親しい友人が集まって結婚を祝い、簡素な料理をともに楽しむことで済ませるようになっています。

37．還暦祝いはどんなふうに行われますか？

以前朝鮮では、60歳まで生きる人は長寿者と見なされました。

孫子たちは、父母の長寿を祝い、さらに長生きすることを願って、60歳の誕生日を大きく祝いますが、これを還暦祝いと称しています。

この日、孫子たちは父母に新しい衣服を贈って着せ、祝膳を整えました。祝膳の前に父母が座ると、孫子や親類、親しい友人たちが酒杯を供し、礼をするのが習わしです。

民族的風習を重んずる朝鮮では、今日も国と人民のために尽くした人や100歳の誕生日を迎える人に国家的に誕生祝いの祝膳を贈っています。

38．祭祀はどんなふうに行われますか？

朝鮮人は古くから父母を尊敬し、真心こめて仕えるのを当然の道義としていますが、この風習は両親の死後にも祭祀の風習を通して継続されています。

ところで、朝鮮の祭祀の風習は14世紀末頃から儒教の影響を強く受け、複雑な格式と宗教的ないし迷信的行事まで重なって行われるようになったために、死者のなきがらを心をこめて埋葬し、深い道義心をもって追慕する本来の意味は損なわれ、行事本位の儀礼になってしまいました。

今日朝鮮では、過去の虚礼虚飾を廃し、葬礼や祭祀は素朴ながらも追慕の念が深くこめられるよう荘重に執り行われています。

墓参りは、清明の日（４月５日頃）とチュソクの日（陰暦８月15日）に、花束と簡素な飲食物を用意して行くのを基本にしています。

39．民俗祝日にはどんなものがありますか？

朝鮮民族には古くから季節ごとに民俗祝日を祝う風習がありました。

代表的な民俗祝日は、ソルミョンジョル（旧正月）、正月大ポルム（小正月）、チュソク（中秋）です。

40．ソルミョンジョルはどんな祝日ですか？

朝鮮人は古くから陰暦１月１日をソルミョンジョル（旧正月）と称し、１年の最大の祝日として意義深く過ごしてきました。

ここではまず新年を迎える準備に力を入れ、家の内外を清め、絵を張り、晴れ着を用意し、飲食物を整えました。

ソルミョンジョルには、朝早く起きて目上の人に新年の挨拶をし、年始回りをします。料理は隣近所の人たちに贈ったりお返しをしたりもし、一家揃って楽しく食べ、民俗遊戯に興じました。

おせち料理の主なものは、輪切りにした餅を味噌汁に入れて煮たトックです。朝鮮の家庭ではソルミョンジョルにトックは欠かせないものとされています。

ほかに緑豆のチジムを焼いて食べる習わしもあります。

この日の大衆的な民俗遊戯の一つはユッノリ（後述）であり、子供たちはそり乗り、たこ揚げなどを楽しみます。

41．正月大ポルムはどんな祝日ですか？

正月大ポルム（小正月）つまり陰暦１月15日の月は、１年のうちで一番最初に昇る最も明るく大きい満月であり、朝鮮では昔からこの日に昇る月を真っ先に見る人に最大の幸運がもたらされるといって楽しく過ごしています。

正月大ポルムの祝いは前日の14日（この日を小ポルムと言う）から始まります。正月大ポルムの代表的な祝い事と民俗遊戯には穀竿立て、野火遊び、風車遊び、綱引き、車合戦その他があります。

穀竿立ては、１月14日の小ポルムにモロコシの茎や芯などをもって五穀の穂の模作を作り、それを長い竿の先に付けて立て、子供たちがそれを囲んで歌い踊り、当年の豊作を祈願する素朴な行事でした。

月見は、正月大ポルムの夕方日が沈む頃、裏山に

登り、さし昇る満月を眺める遊びです。

野火遊びは、月見について行われる、田畑の枯草を焼き払う行事です。

この日、多くの地方で綱引きが盛大に行われ、子供たちは風車遊びに興じたりしました。

正月大ポルムのおせち料理としては五穀飯、薬飯とともに、9種の山菜を取り合わせた乾菜料理なども賞味します。

42. チュソクはどんな祝日ですか？

チュソク（陰暦8月15日）は、1年の民俗祝日のうちで最大の祝日の一つとされています。

チュソクは人々が中秋を豊年の喜びに包まれて祝う日であり、今はなき先祖に真心を尽くす日でもあります。

この日のおせち料理には、新米のチャルトク、うるちのソンピョン、もち米粉の団子に蒸したクリの粉をハチミツに混ぜてまぶしたクリ団子、もち米酒その他があります。

各家庭では、その時節の料理を持って先祖の墓参りをするのが習わしです。

チュソクに使う主な果実は､クリ､ナツメ､カキ､ナシなどです。

この日は村人たちが集まっていろいろな民俗遊戯を楽しみもします。シルム（朝鮮相撲）とぶらんこ乗りがその代表的なものです。

今日朝鮮におけるチュソクは、時代の流れにふさわしく継承されています。

先にも述べたように、この日には一家揃って先祖の墓参りをしますが、ここではまず、夏季に茂った雑草を取り除き、風雨に損なわれた所は土を足したり、芝を植えたりします。

墓所の手入れを済ませた後、墓前に花を供え、料理も置いて、拝礼をします。

拝礼を終えると人々は飲食物を囲んで座り、先祖の思い出を語り合ったり、楽しい四方山話を交わしたりしながら和やかな一時を過ごします。

43．冬至はどんなふうに過ごしますか？

冬至は陰暦11月に迎え、夜が一番長く、昼は一番短い日です。

古くから朝鮮では冬至を小さいソル（正月）と呼

んで、楽しく過ごす風があります。

　この日、各家庭では冬至粥を食べながら、歳が一つ増えることを思って１年を振り返り、また、自家のお粥を近所の人に贈ったりお返しをするなど、親睦をはかりもしました。

　冬至粥は、この日に炊いて食べるアズキ粥のことで、粥には雀の卵ほどのうるちの餅を入れるのが一般の習わしで、今日も盛んに行われています。

44．朝鮮の民俗祝日の特徴は何ですか？

　第一に、ほとんどの祝日が農業と密接につながり、農民の労働生活に即して合理的に定められていることです。

　第二に、民俗祝日の行事に宗教的色彩があまりこもっていないことです。

　第三に、祝日に際して住居の内外を衛生的かつ文化的に清め、健康によいその時節の料理を作って食べ、楽天的な娯楽や遊戯に興じて有意義に過ごすことです。

　第四に、年寄りを敬い、隣近所の人たちと互いに助け合い睦まじく過ごす伝統的な美風が色濃く現

れていることです。

45. 朝鮮の民俗遊戯にはどんなものがありますか？

　朝鮮の民俗遊戯には、武術及び体力鍛錬遊戯、知能較べの遊技、歌舞遊戯、幼少年民俗遊戯などがあります。

46. 体力鍛錬遊戯にはどんなものがありますか？

　朝鮮人の体力鍛錬遊戯には、シルム（朝鮮相撲）、板跳び、ぶらんこ乗り、綱引き、弓術、乗馬など勇壮活発な、興味あるさまざまの遊戯があります。

47. シルムはどんな遊戯ですか？

　シルム（朝鮮相撲）は、サッパ(腰から右ももにかけて回す布)を付けた２人が、相手のサッパを両手でつかんで倒し合う遊戯です。

　シルムの場面を生き生きと見せる朝鮮の歴史遺跡は、高句麗時代の壁画古墳である中国吉林省集安市の角抵古墳(４世紀末)と長川第１号古墳(５世紀中葉)などです。これらの壁画からシルムの淵源がかなり深いということが理解できます。

シルムはチュソク（中秋）に付きものの民俗競技の一つです。

優勝者は賞として与えられた黄牛(朝鮮牛)にまたがって、凱旋将軍よろしく意気揚々と帰宅します。

今日も、毎年のチュソクには、大黄牛賞全国民族シルム競技大会が風致秀麗な平壌の大同江の綾羅(ルンラ)島で盛況裏に開催されています。

48．板跳びはどんな遊戯ですか？

板跳びは、以前、朝鮮の女性たちが封建的な拘束により自由に外出できなかったことへの不満から、家の中庭で石の上に板を置き、その両端の上に立って代わる代わる跳び上がり、塀の外を眺めたことに由来しているといいます。

若い女性たちは、ソルミョンジョル（旧正月）や正月大ポルム（小正月）に晴れ着を着飾って集まり、夜遅くまで板跳びに興じました。板跳びの技巧には、垂直跳び、空中での芸当、民謡に合わせたリズミカルな跳躍、高跳び上がり、長時間跳び、その他とりどりの動作があります。

今日も、祝日などには若い女性たちが好んで遊び、

民族サーカスの種目にも取り入れられて、国際的に大きな人気を呼んでいます。

49．ぶらんこ乗りはどんな遊戯ですか？

ぶらんこ乗りは、かなりの高さの２本の柱や高木の枝に綱を吊り下げ、下端に踏み板を渡したぶらんこに女性が乗り、前後に揺り動かしながら高々と上がる遊戯です。

ぶらんこ乗りには一人乗りと相乗りとがあります。

ぶらんこの前方高くに鈴を吊るして足で蹴るとか、踏み板に目盛りの付いた長い紐を結んでおき、ぶらんこが上がった高さを測定するとかして、勝負を決めます。

50．綱引きはどんな競技ですか？

綱引きは朝鮮で古い歴史を持つ団体競技で、以前は正月大ポルム（小正月）やチュソク（中秋）に村人たちが広場に集まって楽しんだものですが、今日では、普通の日の運動会などでも盛んに行われています。

朝鮮人の好む綱引きは、集団の団結力を誇示し、

体力と忍耐力を育む有力な民俗遊戯です。

51．弓術はどんな競技ですか？

　朝鮮が史上最強を誇った高句麗（前277～後668）時代、人々は幼少の頃から馬術や弓術に興じ、体力の鍛錬に励んで、困難に頑強に立ち向かうに足る強い体質と意志を育みました。

　高句麗の始祖王東明（トンミョン）王（前298～前259）は、７歳にして弓矢を自製し、百発百中の弓術を誇ったといいます。当時、弓の名人を「朱蒙」と呼ぶ習わしがあったことから、彼も高朱蒙（コジュモン）と呼ばれ、それが実名になったといいます。

　高句麗時代に弓術が盛行した事実は、文献上や壁画古墳などを通してもよく分かります。

　弓術を競う場面を見せる江西（カンソ）区域の徳興（トクフン）里古墳の壁画はその顕著な一例です。

　そこには、５本の杭に的を付け、４人の射手が馬上から矢を放つ模様が鮮やかに画かれており、さらにその横手には、２人の審判と１人の記録係が立ち、厳しい目つきで競技の成り行きを注視し、記録している姿も見えます。

このように朝鮮人が好んだ弓術の競技には、いろいろな規則や手順が定められてはいましたが、いずれにしても、その基本は的を正確に射ることにありました。

52．手搏戯はどんな技芸ですか？

　手搏戯はこぶしをもって打ち合う技芸で、拳法とも称しました。

　高句麗、百済（ペクチェ）、新羅（シンラ）が覇を争った三国時代に広く行われた手搏戯は、高麗、朝鮮封建王朝時代にもやむことなく行われました。

　手搏戯は相手に打撃を加えて倒すことに基本を置く技芸で、相手のどこをどう打撃するかによって勝負が大きく左右されるのです。よって手搏戯の基本的手法は、相手の急所を強打して倒したり、相手の弱点を見付けて集中打撃を加えることです。

　手搏戯は今日、テコンドーの名で継承され、発展しています。

　テコンドーは、手と足をもってさまざまの巧みな、かつ敏捷な動きを駆使して攻撃し、あるいは防御する民族的な格闘技です。

テコンドーは、基本動作、トゥル（型）、マッソギ（組手）、護身術、威力に分類されています。

基本動作は競技を行うのに必要な最も基本的な動作で、その動作は3200余種を数えています。

トゥルは基本動作の結合された、戦術的意義を持つ動作で、総24型からなっています。

マッソギは相手と１対１または１対２で対戦する方式で、これには約束マッソギと自由マッソギの２通りがあります。

護身術は、前後左右から不意に攻撃を掛けられた場合、すばやく自分に有利に状況を変えて身を守る手法で、ここで重要なことは、状況の判断及び決心をいち早く行い、相手の力と心理を逆に利用して爆発的な力を揮い、自動反射的に動くことです。

威力は、こぶし、手刀、かかとなどで、厚板、れんが、瓦などを割る能力です。

53. 知能較べの遊技にはどんなものがありますか？

知能較べの遊技は主として、室内で勝負を争い、興ずる遊技で、ユッノリ、朝鮮将棋、碁、コニなどがあります。

54．ユッノリはどんな遊技ですか？

ユッノリは、ソルミョンジョル（旧正月）に朝鮮人が好んで遊ぶ娯楽の一つです。

４個の裏表のある小さい木片（ユッ）を振って出る点数によって持ち駒を進めて先に上がった方を勝ちとする、双六に似た遊技です。

以前は年末から年始にかけて行う遊技でしたが、今日では、随時、暇があれば人々が集まって楽しむ大衆娯楽の一つとなっています。

点数の決め方は、ユッ３個が裏で１個が表なら「ト」と称して１点、２個が裏で２個が表なら「ケ」で２点、１個が裏で３個が表なら「コル」で３点、４個がみな表なら「ユッ」または「シュン」と呼んで４点、４個すべてが裏なら「モ」で５点となります。

ユッ盤で駒の進む道には29の目があり、点数によってその数の目だけ駒を進めます。目は夜空の星の位置をヒントにして作られたとの説があります。

55．朝鮮将棋はどんな遊技ですか？

朝鮮将棋（チャンギ）は構成の簡単なことに反して、指し手は変化に富み、指すほどに興趣が尽きません。

盤は横10条、縦９条の罫を持ち、双方それぞれ16個の駒に普通赤色と青色で名を付けて敵味方を区別しています。

弱者先手で、弱い方が先手を打ち、年長者が赤い駒を、年少者は青い駒を使うのが礼儀とされています。

朝鮮将棋は駒の取り合いによって戦いを進め、相手側の王将を詰めることで勝敗が決まります。

駒の数が少なく将棋盤の構造も簡単ではありますが、そこに無限の指し手が隠されている朝鮮将棋は、幼少年から老人に至るまで誰もが楽しめる大衆的な娯楽です。

朝鮮将棋は知恵を競う遊戯であること以外にも、人々の心身の疲労を癒し、思考力を伸ばし、生活に興を添える娯楽であることで、今も一般に楽しまれています。

56. 碁はどんな遊技ですか？

朝鮮では久しい以前から碁(パドゥ)が広く遊ばれています。

碁は、周知の通り、碁盤に相対した２人の対局者が、縦横各19条の罫を引いた碁盤の任意の点に黒石と白

石を交互に置き、盤上に広く地（盤目）を占めることを競う遊びで、丸い碁石は天をかたどり、方形の碁盤は地をかたどるとする古人の素朴な宇宙観と結び付いて生み出されたという、興味の尽きない遊戯です。

盤上には361の点がありますが、対局者は交互に任意の点に石を置いて相手の石を囲んで取ったり、地を囲い込んだりして、最後に地を広く占めた方を勝ちとするのです。碁石は直径１㎝ほどのややふくらんだ丸い形をしています。

碁遊びには幾通りかがありますが、基本は地を取り合う囲碁です。

最後に相互が占めた地を計算する方法には２通りがあります。一つは、囲い取った相手の石をみな取り除いた上でそれぞれが囲った地の目を数える方法ですが、これはやや面倒なので、二つ目の方法つまり、囲い取った石で相手の地を埋め、残った地の広さを数えて勝負を決める方法が一般的です。

碁は、複雑多様で、深い思考を必要とする興味深い遊技で、以前は主として軍師など武人たちが戦術の研究にも有意義だとして好んで対局したものですが、今日では広く勤労者や青少年が楽しんでいます。

57. コニはどんな遊技ですか？

　コニは、将棋や碁とは違い、特別な器物を必要とせず、方法も簡単で、地面に縦横の線を引き、交点上を小石の駒を動かして取り合う遊びで、コヌとも言っています。

　コニの遊び方には幾通りかがありますが、それぞれ特色があります。碁のように小石を１個１個置いて相互が相手の石を囲い取る遊び、将棋のように駒をそれぞれ自陣に並べた上で、交互に進めながら相手の石を挟んで取る遊び、同じく相手の石に当てて取る遊びその他で、主に子供たちが楽しんでいます。

58. 朝鮮の人形劇はどんなものですか？

　朝鮮には以前、傀儡とか朴僉知（パクチョムジ）などの名で呼ばれた人形劇がありましたが、今日では、時代の現実的要請と人民の感情に即して発展させられています。

　現代朝鮮の人形劇にはおおよそ３種類の方式があります。つまり、棒遣い式を基本にして糸操り式と手遣い式を組み合わせています。

　棒遣い式は人形をかなり広い空間で動かせるので、劇的な内容を多様に形象化できる長所があります。

糸操り式は、主として小型の人形に用いられます。

手遣い式は、親指と人差し指、中指に人形をはめて操るもので、寓話劇や小型動物などの操作に用いられます。

59．農楽はどんなものですか？

農楽は主として農業労働とかかわった遊戯の一つで、カラフルに装った農民たちが野原に集まり、民謡の旋律に合わせて歌い、踊る遊びです。

農楽は主に田植え、草取りなどの際、仕事にかかる前や休憩時間、１日の仕事を終えて帰る時に行いましたが、ほかにも民俗祝日や集団的なイベント、そして共同労働の際、それに娯楽会などの時にも楽しみました。

農楽には、男衆の象毛(サンモ)踊り（てっぺんを竹と玉で飾り、その先に白い羽や細長いテープをつけた帽子をかぶって、テープを振ったり、ぐるぐる回したりしながら踊る踊り）や仮面踊りなどがあり、黄海(ファンヘ)北道鳳山(ポンサン)郡一帯で古くから遊ばれた鳳山仮面踊りは全国に広く知れ渡っています。

農事に起因した農楽は今日、遊園地に彩りを添え

もすれば、ステージにも乗せられて人々を楽しませています。

60. 朝鮮の仮面劇はどんなものですか？

朝鮮の仮面劇は、とりどりの仮面を付けた人たちが、踊ったり歌ったりしながらセリフをやりとりする歌舞劇です。

その昔、狩りをしたり、敵兵をおどしたりする目的で異様な面を付けた習わしが、やがて、歌舞へと変貌したものと解釈されており、封建社会で支配階級を憎悪し、あざける農民の心情を表現する手段として多く利用されました。

今日、朝鮮では、園児や児童たちの迎春公演で、ミツバチ、セミ、ウマオイ、リス、ウサギ、キツネ、オオカミ、クマ、カモシカなどの面を付けた子供たちの歌舞劇として舞台を楽しく、美しく飾っています。

仮面踊りは、運動会、野遊びなどでも踊られ、また、トウモロコシ、大根、白菜、カボチャ、豚、牛、ニワトリ、アヒルなどの面を付けて、協同農場の秋の決算分配場で楽しく踊りはしゃぐ勤労農民の姿も見物です。

61．子供たちの民俗遊戯にはどんなものがありますか？

朝鮮には古くから子供たちの心身の発達に利する遊戯が多いでした。

遠い昔から伝わる子供たちの民俗遊戯には、独楽（こま）回し、チェギ蹴り、たこ揚げ、縄跳び、そり乗り、石蹴り、コニ、ぐるぐる周りの捕らえっこなど数十を数える遊びがあります。

子供たちはうららかな春の日ともなれば、山や野で花や葉をつんで遊び興じ、夏の盛りには川で水浴びや遊泳、草原で日光浴をしながらさまざまな遊戯を楽しみました。

秋の夜は集団ではしゃぎ、笑いさざめき、夜が更けるのも知らずに遊び、冬は酷寒にもめげず、吹雪のすさぶ凍った川の上で独楽を回し、そりに乗ってたわむれました。

子供たちの民俗遊戯は室内でも庭でも、また芝生でも氷上でも行われ、いずれも特別な準備なしに、たやすく遊べるのが特徴です。

62．独楽回しはどんな遊戯ですか？

独楽回しは、氷上または地上で、独楽を鞭で打っ

て回す子供たちの冬季民俗遊戯の一つです。

　昔から子どもたちは、氷の張る冬が来ると、厳しい寒さにもめげず、さまざまの形をした独楽を回して楽しく時間を送ったものです。

　今日多く見られる独楽は、以前のものを継承しながらも新しい形をしたものが多いです。

　独楽は木製以外に、金属製やプラスチック製のものも現れ、下端がすり減ったり、破損したりすることも少なくなっています。

63. たこ揚げはどんな遊戯ですか？

　たこ揚げは、細い竹などの骨に紙を張ったたこに糸を付け、風の力で空高く飛揚させて楽しむ遊戯です。

　たこの朝鮮名は「ヨン(鳶)」で、空高く飛ぶトンビのようだとして出来たのです。

　たこ揚げは初冬から遊ばれましたが、最盛期は、陰暦正月１日から15日までです。

　特にソルミョンジョル(旧正月)には、子供たちがたこを持ち出して空高く揚げ、たこ合戦なども行いました。このように旧正月１日から15日までは、子供たちのたこ揚げ祭りだと言われるほど盛行し、子

供たちは寒風をものともせず、丘の上などで歌を歌いながらたこ揚げに興じたものです。

64．そり乗りはどんな遊戯ですか？

そり乗りは、氷上や雪上で滑り易いように板の下に滑り木を付けたそりに乗って、凍った川の上や雪の積もった傾斜面を滑る遊戯です。

朝鮮語の「ソルメ」は、そりに乗って雪の坂道を滑り降りる時の快感があたかも馬に乗って走る時のようだとして、「ソルマ(雪馬)」と言っていましたが、やがて「ソルメ」と呼ばれるようになったといいます。

冬季の子供たちの主な民俗遊戯であるそり乗りは、今日、新しい形態や材質のそりがいろいろと工夫されて、いよいよ楽しい遊びとなっています。

以前は、滑り木が２本のそりや小ぞりに乗って遊んだものですが、今では滑り木が１本のそりや２人乗りのそりも出現して、子供たちはいろいろな技巧をこらしてそり乗りを楽しんでします。

65．縄跳びはどんな遊戯ですか？

縄跳びは歌のリズムに合わせて、縄を回しながら

くぐったり跳んだりし、または一定の高さに張った縄を跳び越えたりする遊戯です。

縄跳びは７歳頃から16歳頃までの少女たちが、主として初春から初夏にかけて遊び、時には同じ年頃の少年たちも楽しんだと言います。

縄跳びの遊び方はいろいろとあり、時代の流れとともに新しい方法が考え出されています。

２人が長い縄の両端を持って回し、その中で１人が自分の縄を回しながら跳び、さらにはその際長い縄が１回転する間に、身体を２度または３度180°、360°に回して跳ぶ方法、２人が並んでそれぞれ縄の一端を持って回しながら回転する長い縄の中で跳ぶ方法、歌のリズムに合わせて座ったり立ったりしながら、身ぶり手ぶりよろしく跳ぶ方法などがあり、また一定の高さに張った縄を跳び越す場合も、単純に跳び越えるのでなく、両足を歌の拍子に合わせて決まった順序で縄を踏んだり、軽く足を交互に踏みかえたりしてから跳び越える方法や、５～６名が打ち合わせた順序に従って次々に跳び越える方法など、さまざまな遊び方が工夫されています。

66. チェギ蹴りはどんな遊戯ですか？

チェギ(羽根)蹴りは、チェギを蹴ってわざを競ったり、落とさずに蹴った回数を争う少年の遊戯です。

チェギ蹴りは三国時代から遊ばれ始め、子供たちの楽しい遊戯の一つとなっています。

チェギの形は時代によって異にしていますが、近代に至って最も普通に用いられているのは、以前の銅銭などの穴に朝鮮紙や色糸、毛糸、布、鳥の羽根などを通して房としたものです。このようなチェギは見た目にもきれいで、蹴り上げられて落ちる時は、ゆっくり落下するので、ゆとりをもって蹴ることができます。

チェギ蹴りの方法には、一方の足は地面を踏み、他方の足は地面に付けたり上げたりしながら、内くるぶしでチェギを連続して蹴り上げる方法、蹴る足を地面に下ろすことなく、続けて蹴り上げる方法、両足で交互に蹴る方法、一方の足は内くるぶしで、他方の足は外くるぶしで蹴る方法、片足を地面に下ろさず蹴り上げながら、時にチェギを頭上や背中に乗せる方法、片足で蹴り上げていたチェギを足の甲で遠くへ蹴り飛ばす方法などがあります。

チェギ蹴りには、２人以上の子供たちが向かい合って交互にチェギを蹴って渡したり渡されたりする方法もあります。

これには、２人または３人で行う方法、特に上手な子が中央に立ち、数人の子たちが周りに立って、チェギが中央と周りを交互に行き交うようにする方法などがあります。

チェギ蹴りにはまた、一定の距離を往復しながら蹴り続ける遊びもあります。

チェギ蹴りは、子供たちの精神の集中力と、落下物に対する正確な判断力を養い、身体を鍛える上にも有益な遊戯です。

67. 朝鮮の民俗遊戯の特徴は何ですか？

世紀にわたり生活と密接に結び付いて伝承されてきた朝鮮の民俗遊戯は、朝鮮人の民族的特性を顕著に示しています。

第一に、歴史的に形成された朝鮮人の生活感情と趣味が反映された、民族的情緒が色濃く漂っていることです。

高句麗人の遊戯は、シルム、手搏戯、弓術などす

べてが気迫のこもるものでした。

　第二に、その種類や形式が多種多様だということにあります。

　朝鮮の民俗遊戯は、特に場所を選ばずにたやすく行え、戸外で遊ぶものや室内で遊ぶもの、男女老幼の別なく遊べるものなどがあり、武術や体力を鍛え、思考力を養い、また、季節の違いによるもの、年中遊べるものなどと数百もの遊戯があり、遊び方も実に多様です。

　第三に、遊戯の内容が健全で文化的だということにあります。

　第四に、人々に、隣人と相和し、集団の一体感を養い、愛国心を育むことに役立っていることにあります。

68. 朝鮮人の挨拶法にはどんなものがありますか?

　古くから東方礼儀の国として広く知られた朝鮮には、挨拶に一定の決まりがあり、礼節を重んずる風習が根付いています。

　朝鮮人は路上で老人や目上の人に会えば、尊敬の念をこめて慎み深く腰をかがめてご機嫌うかがい

の挨拶をし、室内では手を床に付けて礼をしました。友人同士は会釈を交わすのが通例です。

朝鮮人の挨拶の基本は礼であり、それには大礼、半礼、平礼があります。

69．大礼はどんな挨拶ですか？

大礼は、一家親類の間で、年寄りや目上の人に目下の者が行う礼です。

男子の大礼は、両手を床に付け、頭を深く下げる平伏で、普通は室内でなされます。

その方法は２通りがあります。

第一のそれは、まず両手を合わせて目の高さに上げて腰をかがめ、手を床に付けて左膝を先に曲げ、続いて右膝も曲げながら尻を下ろします。次にひじを床に付けて額が手の甲に達するまで深々と下げます。

第二のそれは、第一の大礼とほぼ同じではありますが、両手を肩の高さで合わせることから始まり、額は床の両手に届けず、低めに下げます。

第一の大礼は儀式の際、または目上の人に特に丁重な礼をすべき場合に行い、第二の大礼は通常時の

挨拶、または互いに尊重する相手同士との間でなされました。それゆえに普通一般に行われる大礼は、第二の大礼です。

大礼は丁重な態度で静かに行い、膝を曲げて床に当てる際は音がしないように注意し、動作も速くせず、ゆっくりと行うことが大切です。こういう点に長上への尊敬心が表現され、礼儀正しい動作だと見なされるのです。

女子も大礼を行いますが、男子の仕方とは違い、頭を深々と下げるようなことはせず、また、動作も男子よりさらにゆっくりすることです。

70. 半礼はどんな挨拶ですか？

半礼は、礼を受けた目上の人が座ったままで姿勢を正し、頭を少し下げる答礼です。

ここでもわずかながら男女の違いがあります。

男子の半礼法は、あぐらをかいたままの姿勢で軽くうなずき、女子の半礼法は男子の半礼法に似てはいますが、片膝を立てて座ったままの姿勢で目礼を返し、頭はほとんど下げないことにあります。

71．平礼はどんな挨拶ですか？

平礼は大抵は屋外で行われます。

体をかがめる程度によって、目上と目下の関係が表現され、深くかがめるほど丁重度が深まるのです。

上下の違いのない人同士の挨拶では、会釈をして挨拶の言葉を交わすのが通例です。

72．朝鮮の民謡にはどんなものがありますか？

朝鮮の民謡には、労働生活と関連した労働民謡、叙情的な民謡、踊りに合わせて歌う輪舞歌など幾つもの種類があります。

労働民謡には『オンヘヤ』『農夫の歌』『踏み臼打令(タリョン)』『舟歌』『糸車打令』『ふいご打令』などが、叙情民謡には『アリラン』『陽山道(ヤンサンド)』『トラジ』などが、輪舞歌には『カンガンスウォルレ』『ケェジナチンチンナネ』『トンドルラリ』『龍岡(リョンガン)キナリ』などがあります。

民謡に基づいて作られた歌も少なくありません。中でも『ぶらんこに乗る乙女』『ノドルの川辺』『朝鮮八景歌』『名勝の歌』などは広く知られています。

73．西道民謡はどんな民謡ですか？

　西道民謡は朝鮮半島の西部地方つまり平安(ピョンアン)南北道と黄海南北道地帯で広く歌われた民謡です。

　概して明るく楽天的な節回し、美しくて繊細なトレモロとトリルを特徴としています。

　西道民謡の代表的なものは、『龍岡キナリ』『桑打令』『陽山道』『長山岬(チャンサンゴッ)打令』です。

74．南道民謡はどんな民謡ですか？

　南道民謡は朝鮮半島の南部地方つまり全羅(チョンラ)南北道と慶尚(キョンサン)南北道地帯で広く歌われた民謡です。

　南道民謡には、愛国主義的な色彩の濃い『カンガンスウォルレ』や『ケェジナチンチンナネ』など、それに農民の労働生活と関連した『農夫の歌』『オンヘヤ』『糸車打令』など、さらには当該地方の人たちの世態的な生活感情をうたった『珍島(チンド)アリラン』『密陽(ミルヤン)アリラン』『慶尚道アリラン』などがあります。

　南道民謡の特徴の一つは、専門歌手の影響を大きく受けて、形式がかなり整い、音調と技巧も多様であることです。反面、旋律上の抑揚や歌詞に時調（朝

鮮中世の定型詩の一つ)的なものが多く、難渋なトリル法や、歌唱法にあまり適切でない形式がいろいろとある弱点を持っています。

75. 『アリラン』はどんな民謡ですか？

『アリラン』は朝鮮の最も代表的な民謡です。『アリラン』発生の由来と語源についてはいろいろと語られていますが、ここにその一つである『ソンブとリラン』の物語を紹介します。

昔、ある村の地主に雇われていたリランという若者とソンブという娘が、ある凶年に当地方で起きた農民一揆に加わり、結局は官軍に追われて深い山奥に逃れました。この山村でリランとソンブは愛し合う仲となり、一家を構え、貧しいながらも幸せな日々を送りました。

数年後、リランは悪どい搾取者に抗する農民暴動軍に入って戦うことを決心し、愛する妻ソンブを後に残して戦いの途につきました。

ソンブは夫リランが越えて行った峠を眺めながら、リランを慕い、切なく「アリラン、アリラン」と恋歌を歌いました。これが人々の口から口へと伝

えられて、民謡『アリラン』が生まれたといいます。「ア」は親しみをこめて名などを呼ぶ際の接頭語です。

『アリラン』は、朝鮮人民の間で広く歌われるうちに、それぞれの地方の色どりを持つメロディーや歌詞が少なからず生まれました。平安道の『西道アリラン』、京畿（キョンギ）道の『キーン・アリラン』、全羅道の『珍島アリラン』、慶尚道の『密陽アリラン』、江原道の『旌善（チョンソン）アリラン』、咸鏡（ハムギョン）道の『端川（タンチョン）アリラン』など、各自それぞれの特徴を持つ『アリラン』は数多いです。

それらの『アリラン』の歌詞には、恋慕する夫との離別の悲願、夫を慕い再会を希求する思いなど若い男女の恋心を表出する形象を通して、搾取社会に対する勤労人民大衆の悲しみと恨み、幸せへの志向と念願などが切々とこめられています。

『アリラン』は今日、歌謡としてばかりでなく、管弦楽曲として、さらには器楽重奏、映画音楽、舞踊音楽など多様な形式で広く演奏されています。

朝鮮民謡を象徴する歌として世界に広く知られた『アリラン』は、世界無形文化遺産として登録されています。

76. 『ノドルの川辺』はどんな民謡ですか？

『ノドルの川辺』は1930年代初めに作られた新民謡です。

この歌は、日本帝国主義の植民地支配(1905～1945)の下で一切の権利を剥奪され、苦難の生活を強いられた朝鮮人の無念きわまる境遇と腐敗に満ちた社会への嘆き、鬱々とした心情がこもる民謡です。

ノドルの川辺の柳を眺めては無為に流れる歳月を嘆きもすれば、白い砂地に万古の風霜を埋めもし、はたまた言葉もなく流れる流水に積もり積もった怨恨を運び去ってくれと訴えかけもしながら、わが身の不遇と悲哀をかこっています。このように歌詞の節々には、当時朝鮮人民に苦痛と不幸の限りを強いた日本帝国主義侵略者への憎悪の感情が脈打っているのです。

ゆるやかなリズムと、淡く、滑らかながらも、美しく豊かな情緒的特性とポピュラーな平易性を帯びた旋律のゆえに、『ノドルの川辺』は広く朝鮮人民に愛唱されました。

この歌は、怨恨に満ちた当代社会の現実と国なき民の不遇な境遇を嘆息するにとどまる制約性を免

れ得なかったとはいえ、楽曲に漂う特有な民族的情趣と美しい旋律のゆえに、今も人民に愛唱され、舞踊曲としても広く演奏されています。

77. 朝鮮の民俗舞踊にはどんなものがありますか？

朝鮮の民俗舞踊は、勤勉な労働生活と美しい風俗が反映された、人民の創作になる舞踊で、人民的な情緒にあふれ、地方それぞれの特性がこもり、さらには踊りの構図とリズムも不自然なところがなく、誰でも容易に踊れるのが特徴です。

古くから朝鮮人民が創造し、発展させてきた民俗舞踊には、労働生活を反映した舞踊、戦闘生活を反映した舞踊、世態生活を反映した舞踊、それに民間仮面踊りなどがありました。

朝鮮の民俗舞踊には、それぞれの地域ないし地方に特有の踊りのリズムが集中的に表現されています。

78. 『トンドルラリ』はどんな舞踊ですか？

『トンドルラリ』は、朝鮮の咸鏡道地方の民俗舞

踊です。

元来咸鏡道北青（プクチョン）地方の女性たちが、山地に自生するヒメニラの鱗茎を掘りながら、その合間に踊り興じた輪舞形式の舞踊でした。

日本帝国主義の支配時代、搾取と抑圧のない解放祖国の１日も早い到来を願って、当地の人民はこの舞踊に『ドントゥルナル(夜の明ける日)』の名を付け、よい広い層の間で愛好される大衆的な民俗舞踊となりました。

舞踊は、パガジ(二つ割りのひさご)を洗面器などの器の水に伏せて浮かべ、木片や手のひらでボンボコボコボンボコと叩く明朗なリズムに乗って繰り広げます。強弱が明確な柔らかい拍子と歌に合わせて第１歩を大きく踏み出して脚の屈伸をし、その次からは少しずつ屈伸しながら踊り歩く動作は独特の律動感をかもし出します。この場合、歩行の律動に調和させて、頭と組んだ両腕を左右に振り振りして踊り、その末に両手を勢いよく開いて一つの動作を締めくくるところに、この踊りの特徴があります。

ほかにも、全身を左右に軽やかに振り振り、手を回して顔をちらっちらっと隠す動作、これとは対照

的に両腕を前後に大きく振り、すれすれに走る動作、地面に膝を当てて体をぐるりと半転したり、腰を浮かせて回しながらパガジを叩く動作など、いずれも『トンドルラリ』踊りに特有な特徴ある動作です。

この踊りも今日、時代的美感に合わせて新しい形象が作り出され、朝鮮人民のより大きな愛好を得ています。

79. 『扇の舞』はどんな舞踊ですか？

民俗舞踊『扇の舞』は悠久な歴史の流れの中で、さまざまの生活状況を反映して生み出された各地の扇の踊りを現代的美感に即して総合し、再形象化した舞台芸術作品です。

『扇の舞』は、朝鮮人民の美しい内面世界を、詩的情緒に満ちた叙情的な舞踊絵巻として形象化しました。舞踊の律動と衣装は優美かつ精巧な朝鮮民俗舞踊の優雅な趣をよく表現しています。扇子をぐるっと振り回して脚に叩きながら畳みさっと開く動作、扇を頭上にあげては下ろす動作、畳んだ扇を静止状態で寝かせたまま開き、あるいは立てたまま開く動作などは、朝鮮民俗舞踊ならでは味わえな

い独特な情緒です。

民俗舞踊『扇の舞』はその高度の芸術性が評価されて、第６回、第７回、第９回世界青年学生祭典の民族舞踊コンクールで金メダルに輝きました。

80．『チェンガン踊り』はどんな舞踊ですか？

民俗舞踊『チェンガン踊り』は、手首に「チェンガン、チェンガン(チャラン、チャラン)」と音を立てる金属腕輪をはめ、朗らかなリズムに合わせて踊る舞踊です。

人民的情趣に富んだ『チェンガン踊り』の特徴的なリズムと動作は、腕の動きに強く表現されています。腕をぱっと突き出す動作、手で膝を打ちながら身体を屈伸する動作、扇子を使う動作、両手を叩いては頭上へと振り振り上げたり、斜め前へ１歩大きく踏み出しながら片手を高く振り上げて「チェンガン」と音を出す動作、両腕を大きく広げる動作、走り出す動作、手を振る動作などです。

81．『剣の舞』はどんな舞踊ですか？

『剣の舞』は、女性たちが伝統的に舞っていた短

剣踊りを、今日の時代的美感に即して、新しく形象化した民俗舞踊です。

国の守りに一身をなげうとうとの覚悟で剣術を修練する女性の姿を通して、朝鮮女性の熱烈な愛国心と英知、勇敢さを表現しています。

緩慢な迫力ある音楽のリズムに乗って、一斉に剣を力強く回す動作とそれに合った独特な律動的音響、剣を立てて左右に振りながら前進する動作、足を１歩引いた姿勢で片腕を高く上げ、剣を振るって相手の剣を払う動作などは、多様な構図と結び付いて作品の思想的内容と舞踊の性格を集中的に強調しています。

『剣の舞』は、単に剣を使う動作と技巧のみを見せていたかつての剣舞とは異なり、朝鮮人民の愛国的気概と英知を見せるのにふさわしく、剣を使う動作を特色をもって形象化した民俗舞踊作品です。

82．民俗舞踊組曲『季節の歌』はどんな作品ですか？

民俗舞踊組曲『季節の歌』は、長い歴史の流れの中で生み出された、春夏秋冬の四季に遊ばれた朝鮮

の民俗遊戯の中から、人民の創造的な労働生活と密接にかかわった民俗遊戯を選び、それらに即した舞踊小品を組み合わせて舞台芸術化した作品です。

『季節の歌』は朝鮮人の民俗的な四季の生活を反映した場面をもって構成されている四つの景と終章からなっています。

第１景『冬』は、「ユッノリ踊り」「月見踊り」「たいまつ踊り」、第２景『春』は、「迎春の踊り」「ぶらんこに乗る乙女」「相撲踊り」「仮面踊り」、第３景『夏』は、「小川のほとりで」「トンドルラリ」「貝を漁る乙女」、第４景『秋』は、「狩猟の踊り」「花の列の踊り」「取り入れの踊り」「農楽舞」をもって構成されています。

終章『あ、素晴らしきかなわれらが錦の山河』は、麗しい朝鮮の風景を背景に民族的な誇りと幸せを謳歌する舞踊や歌で織り成されています。

83. 民族楽器にはどんなものがありますか？

朝鮮では古くから、外国の楽器には見られない独特な音色と模様を持つ楽器を作り、不断に発達させてきました。

朝鮮の民族楽器には、ピリ（笛）、タンソ（短簫）、チョテ(横笛)、トゥンソ（洞簫）、セナプなどの管楽器、コンフ（箜篌）、ヘグム（奚琴）、カヤグム（伽倻琴）、アゼン（牙筝）、ヤングム（洋琴）、コムンゴ（琴）などの弦楽器、チャンゴ（杖鼓）、プク（太鼓）、ケングァリ（小型の銅鑼）、チン（銅鑼）などの打楽器があります。

その多くは、1960年と1970年代初めに、民族的情緒のより濃厚な美しい音色と、澄んで柔らかな、それに優雅あるいは憂愁の音を出す楽器に改良されました。

改良された代表的な民族楽器には、タンソ(高音短簫、短簫)、チョテ(高音チョテ、中音チョテ、チョテ)、セナプ・笛属楽器(長セナプ、大笛、低笛)、ヘグム属楽器(小奚琴、中奚琴、大奚琴、低奚琴)、それにカヤグム、ヤングム、オンリュグム（玉流琴）などがあります。

これらの楽器は、朝鮮の民族音楽と洋楽を思いのままに調和させながら演奏でき、豊富な奏法に加えて転調・移調の適用も自由で、独奏、重奏、合奏など多様な演奏形式に広く利用されています。

84. タンソはどんな楽器ですか？

タンソ（短簫）は朝鮮固有の民族木管楽器の一つで、縦に持って吹く楽器です。

タンソの音色は柔らかく清澄で、非常に穏やかな上、高音区に上がるにつれて次第に澄明さ、美しさを増し、哀愁を帯びます。

タンソは改良後、民族管弦楽はもとより、洋楽器との組み合わせ管弦楽で重要な役割を果たす楽器となりましたが、高音タンソは管弦楽の最高音区を担当するほどになりました。

改良されたタンソの基本的な材質は、従来のタンソのような竹ではなく、オノオレや紫檀のような硬い木材であり、またタンソの規格を科学的に統一したために、音程がより一層正確に決まるようになりました。

タンソの構造は、歌口(音溝、リード)、音穴、ばね付きのキー、連結部、上共鳴筒、下共鳴筒、手支えなどからなっています。

タンソは広い音幅と豊富な音の強さにより、どんな音楽もすべて演奏できます。

また、５音階ではなく12半音階で調律できるので、

さまざまの調への転調・移調が可能であり、また、演奏法上の弄音、微分音、フェルマータ(延音)など、纖細な民族的トリル奏法はもとより、スタッカートの多様な手法やトリル、急速音の進行など現代的奏法が取り入れられています。

85．長セナプはどんな楽器ですか？

　長セナプは、セナプを朝鮮人の志向と発展する音楽実践上の要請に即して改良された民族木管楽器の一つです。

　長セナプはセナプより管身が長く、音孔も多くてばね付きのキーが付けられ、12平均律半音階システムで調律できるように作られているので、転調と移調が可能であり、さらには音域を第２オクターブ４度まで広げた近代的な楽器です。

　長セナプの一般的な構造は大まかに、リード、首、管身、アサガオ型の部分に分けられています。

　長セナプの音色は澄んで華やかなのが特徴です。

　長セナプは独奏楽器として広く利用され、また洋楽器との組み合わせ管弦楽その他さまざまの器楽アンサンブルにも加わって旋律を担当する主導的

楽器として、また管弦楽の独特な民族的色彩を生かす上で重要な役割を果たす民族木管楽器です。

86. カヤグムはどんな楽器ですか？

カヤグム（伽倻琴）は、6世紀初・中葉の作曲家・演奏家である于勒（ウルク）が創案した朝鮮の特色ある民族弦楽器です。

高句麗、百済、新羅についで建てられた封建国家伽倻（カヤ）で作られたとしてこの名があります。

カヤグムの音色は清く優雅で柔らかく、哀愁を帯びています。

カヤグムの奏法には、つまみ、はじき、重ねはじき、トリル、かけ弾き、引き打ち、和音奏法、分散和音奏法、弄弦奏法などさまざまなものがあります。

朝鮮では民族楽器の改良に大きな力が入れられましたが、その中でカヤグムも近代的に改良されて、その優秀性が一段と高まりました。

構造は、共鳴筒、弦、可動琴柱、弦枕、頭、尾、糸巻き、足、響穴からなり、別に糸巻き用のねじ回しがあります。弦数は現在21弦に増やされており、また初期の5音階システムから7音階システムへ

と音階を改めて、音域を大きく広げました。それに音量も豊富になり、音質もさらに高められて、カヤグムの独特な音色はより顕著になりました。

改良されたカヤグムの特性に即して、演奏法も補充されました。従来は右手だけで音を出し、左手は弄弦を行うだけでしたので、主として単旋律のみが奏でられましたが、今では両手で音を出す新たな奏法が考案されて、弄弦のようなカヤグム特有の奏法を生かしながらも、さまざまの多声音楽を立派に演奏しています。

カヤグムは独奏楽器としてばかりでなく、併唱（ビョンチャン）（弾きながら歌うこと）や合奏も行い、民族器楽併唱などでは基本的旋律を担当しており、管弦楽、器楽重奏及び伴奏などでも旋律ないしリズム楽器として大きく活用されています。

カヤグムは今日、専門芸術団体でも、また一般大衆の間でも広く演奏されています。

87. オンリュグムはどんな楽器ですか？

オンリュグム（玉流琴）は1970年代に創案・製作された撥弦楽器です。

金正日（キムジョンイル）総書記の発意と指導を得て生み出されたこの楽器は、玉を転がすような清澄な音を出すとして、玉流琴（オンリュグム）と命名されましたが、命名者も金正日総書記です。

民族撥弦諸楽器の各特性を現代的に総合して作られたオンリュグムは、柔らかく優雅で、玲瓏な美しい音色と豊かな音量を持ち、余音も十分に出せます。三つの音区があり、低音区は幅が広く深みがあり、響きが太いです。中音区は非常に穏やかな美しい音を出し、高音区は高く鮮明ながらもやや緊張した鋭い音を響かせます。

オンリュグムは演奏法及びはじく弦の位置の違いによりさまざまな音色を出します。弦の中程をはじけばあたかもハープの音響を思わせるような、柔らかく優雅な音がし、弦の右側をはじけば、優雅なカヤグムの響きのような音色を出し、弦の左側をはじくとギターの音に近い音色が得られます。

オンリュグムは音域が広い上、任意の変化音も出せ、演奏法も多様で、旋律はもとより、いろとりどりの伴奏もさわりなく奏でることができます。

オンリュグムは美しい音色と多様な演奏法によ

り、独奏楽器としてはもとより、民族器楽アンサンブルで重要な役割を果たし、洋楽器との組み合わせ管弦楽の編成では独特な音色と豊満な音量により、管弦楽音響の民族的色彩と情趣をかもし出す上で重要な機能を果たしています。

88. チャンゴはどんな楽器ですか？

チャンゴ（杖鼓）は朝鮮固有の打楽器です。

朝鮮音楽の民族的特性を十分に表現できる代表的な民族楽器の一つであり、高句麗時代に生み出されてから朝鮮人に親しまれ、広く普及しています。高句麗壁画古墳の集安５墓の４号及び５号古墳にはチャンゴの描かれた壁画があります。

チャンゴは二つの共鳴筒を一つに結び合わせて作られた、独特な形態の打楽器で、共鳴筒の左側は右側よりやや大きいです。左側は手で打つ面で音程は低く、響きは大きく柔らかいです。右側はばちで打つ面で音程は高く、響きは弾力性と溌剌性に富んでいます。皮も左側は厚く、右側は薄いです。

チャンゴは形態が均衡が取れて、見た目にも美しくて朝鮮人民に親しまれています。

長い歴史の流れの中でその活用性が豊かになり、奏法も多様な発展を遂げて、小編成の管弦楽では指揮者としての役割を果たしており、時には独奏楽器としても使われています。

チャンゴは民族的興趣をそそる多様な性格の拍子を立派に生かせることで、音楽の形象を高める上に積極的に寄与しています。

チャンゴは音楽舞踊小道具としても使われ、人々の娯楽性活にも広く利用されています。

89. 朝鮮の説話にはどんなものがありますか？

説話は神話、伝説、民話、童話、寓話など人民の中で生まれ、語り継がれてきた話の総称で、朝鮮では、原始時代から古代、中世を経て、現代へと伝承されてきました。

90. 『檀君神話』はどんな説話ですか？

『檀君（タングン）神話』は古朝鮮の建国神話です。

これには、古朝鮮の始祖王檀君の出生物語が神話形式で語られています。

檀君の父親は天帝桓因（ファンイン）の子桓雄（ファンウン）です。彼は天上

にいた頃地上に降りて世を治めたいと考えました。桓因はその志を容れて、天符印３個を授けて地上へ送りました。3000余の群衆を引き連れて太白山(テベク)(妙香山との説もある)上の神檀樹の下に降りた桓雄は、雨師、雲師、風伯の３神に農事、疾病、刑罰、善悪など人間生活上の360余事をつかさどらせて世を治めました。その頃、ある洞窟にクマとトラが棲んでいましたが、ともに桓雄に自分たちを人間につくり変えていただきたいと懇願しました。

桓雄はクマとトラに神霊の宿ったニンニクとヨモギを与えて、これを食べて100日間日を見ないと人間になれると言いました。ところが、トラは禁を犯したために人間になれませんでしたが、クマは教えを守って人間の女になり、やがて桓雄と結ばれて男子を産みました。その男子がほかならぬ檀君です。

成長した檀君は平壌を都とする国を建てて王となり、国名を朝鮮と号しました。檀君は1500年間国を治めた後天に昇りました。その時の年は1908歳でした。

檀君の両親桓雄と熊女(コムニョ)の話は、祖先崇拝心に根差した始祖王の神聖化と建国の合理化をはかってつ

くり出されたものであり、その根底には、原始時代末～古代初期の人々の生活と志向、意識状態ならびに思考方式が反映されています。

1990年代初めに平壌近郊にある檀君陵が発掘され、遺骨(男女２体分)の測定により、檀君は神話的な架空の人物ではなく、約5000年前に平壌を都とする最初の古代国家古朝鮮を建国した朝鮮民族の始祖王であり、当時としては非常に長生きした人物であったことが判明しました。

91. 『解慕漱神話』はどんな説話ですか？

『解慕漱(ヘモス)神話』は朝鮮古代神話の一つです。

主人公解慕漱は天帝の子で、北扶余(プヨ)の地に降りて王となりましたが、天と地、海を自由に行き来する五龍車に乗り、朝は地上に降りてまつりごとを行い、日暮れには天上に昇るのを常としました。

ある日、解慕漱は猟に出かけ、清河で水神河伯(ハベク)の３人の娘が遊んでいるのを見て恋心を起こし、馬の鞭で線を引きました。すると、そこに壮大なあかがねの殿堂が立ち上がりました。３人の姉妹は殿堂に入ってたわむれ遊びました。解慕漱は彼女たちに近

づき、長姉の柳花（リュファ）と恋仲になりました。このことを知った河伯は使臣を送り、「いかなる男がわしの娘をかどわかしたのか」と詰問し、礼儀をわきまえぬ解慕漱の行為をなじりました。

　解慕漱はわが行為を恥じ、五龍車に乗って河伯の国へ行き、河伯と技を競って打ち負かした上で、礼を尽くして柳花と結婚しました。

　河伯は、わが子への愛が冷めるのではと懸念し、解慕漱に泥酔するほど酒を飲ませた上で、柳花と一緒に皮袋の車輿の中へ押し込め、五龍車に乗せて送り出しました。ところが解慕漱は五龍車が水上に出る前に酔いから醒め、柳花のかんざしを抜いて皮袋を破り、新妻を残したまま一人天上に帰りました。

　河伯は、柳花が家門の恥をさらしたとして、娘を優渤水に捨てました。

　柳花は漁師の網にかかって救い上げられ、東扶余の王金蛙（クムワ）の宮中に住み、やがて１個の卵を産みましたが、その殻を破って男の子が現れ、のちの高句麗の始祖王となる高朱蒙がここに生をうけたのです。

　『解慕漱神話』は朝鮮の代表的神話の一つで、主人公解慕漱の神変無双の形象を通して自分たちの

祖先への崇拝と、自然の支配を夢見る古代人民の素朴な志向を表現しており、また、天上と地上、水中を自在に往来する解慕漱の華々しい行動、あかがねの殿堂、皮袋の車輿などを登場させて、当時の文化発展相の一面を見せてもいます。

『解慕漱神話』は高句麗の建国説話『朱蒙伝説』につながっています。

92. 『朱蒙伝説』はどんな説話ですか？

『朱蒙伝説』は高句麗の建国説話です。

朱蒙は天帝の子解慕漱と水神河伯の娘柳花の間に生まれた人物とされています。

柳花は親の許しを得ずに解慕漱と交わったとがで優渤水に捨てられましたが、漁師に救われ、結局、東扶余の王金蛙の保護を受けることになります。金蛙王は彼女に疑念を抱き、宮中の一室に幽閉しましたが、ある日、彼女の体に日の光が差し、やがて５升入りほどの大きさの卵を産みました。その卵の殻を破って現れた男の子が高朱蒙です。

朱蒙は幼少の頃から力が強く、弓矢をよくしました。扶余の国では弓術に長けた人物を指して朱蒙と

呼ぶ習わしがあったことから、彼は朱蒙と名付けられました。

　金蛙王には７人の息子がいましたが、いずれも朱蒙の知恵や技芸に遠く及ばなかったので、彼をねたみ、父王にざん言しました。

　金蛙王は、朱蒙の内心を探るべく、馬飼いをさせました。

　朱蒙は母親に、天帝の孫たる自分が、他人の馬を飼って生き恥をさらすなど死ぬよりもつらい、だから南方の地で国を建てたいと言いました。

　柳花は朱蒙の志を喜び、早速牧場へ出かけて、長い鞭を振るい、高さ10尺もの垣を跳び越えた馬を朱蒙に教えました。朱蒙はひそかにその馬の舌の下に針を差しておきました。

　金蛙王は牧場に来てみて、他の馬たちがまるまると肥えているのを見て喜び、飼い葉をろくに食べずにやせている馬を朱蒙に与えました。朱蒙はその馬の舌の下から針を抜いて、馬を見違えるほど立派に育て上げました。

　こうして朱蒙は母親から与えられた穀物の種子を携え、普段から気心の合っていた数人の友と語ら

い、ひそかに東扶余の地を抜け出しました。

このことを知った金蛙王の息子たちは、軍勢を差し向けて朱蒙らを追わせました。朱蒙らは魚やスッポンがつくった橋で無事に大河を渡りました。追って来た軍勢は魚やスッポンがばらばらに離れ去ったために、水に溺れて死にました。

朱蒙らは卒本(チョルボン)扶余に至り、そこを都にして新たな国を建て、高句麗と号しました。

93. 『鹿足婦人伝説』はどんな説話ですか？

『鹿足婦人伝説』は、高句麗人民の中で生まれた、反侵略・愛国思想を称揚した伝説です。

鹿足婦人は２人の息子を持つ母親でした。その足が鹿の足のようだとして、人々は彼女を鹿足婦人と呼びました。２人の息子も鹿足の形をしており、村の子たちにからかわれながら育ちました。

ある日、嵐に覆われ、母親は２人の子と生き別れる運命に陥り、数十年間独りわびしく暮らす身となりました。

その後、隣国随の大軍が高句麗へ侵入した時のことでした。婦人は老年の身ながら乙支文徳(ウルチムンドク)将軍の下

に入り、戦いに参加しました。ここで、彼女は侵略軍の中に鹿足将軍と呼ばれている２人の勇将がいるという噂を耳にし、さてはと思って決死の覚悟で敵陣に忍び入り、２人の鹿足将軍に会いました。

彼らの足を見て、わが子に違いないと喜び、自分はお前たちの母親だと打ち明け、人間は先祖の骨が埋もれている故国を忘れてはならないと厳しく諭しました。

苛烈な戦場で母親にめぐり会い、自分たちの生まれた国が高句麗であることを知った２人の鹿足将軍は、随の軍服を脱ぎ捨てて高句麗軍にはせ参じ、これが機となって随軍は瓦解し始めました。

乙支文徳将軍は大いに力を得て、遂に敵軍を全滅しました。

この伝説は、鹿足婦人と２人の息子、それに乙支文徳将軍の姿を通して、高句麗人民の英知と生活感情、愛国的念願をリアルに描き出しています。

94. 『沈清伝』はどんな作品ですか？

『沈清伝（シムチョン）』は、朝鮮人民の間で語り継がれてきた父母への女性たちの孝心を語る説話に基づいて創作された代表的な古典小説です。

この作品は、主人公沈清の父親への涙ぐましい孝心を描き、その生活を通して、卑しめられ、抑圧されている人民の暗澹たる境遇、そんな中でも朝鮮人は高尚な道徳品性を保ち、幸福な生活をいかにあこがれているかを生き生きと見せています。

沈清は貧しい盲人の娘で、幼くして母親を亡くし、村の女たちの乳を貰って育ち、11歳の年で他人の手間仕事を始め、盲目の父親を養いました。

ある日、父親は、稼ぎに出た娘が遅くなっても帰らないので、あちらこちらと探し歩いた末、川にはまりました。

たまたま通りかかった一人の僧が彼を助け上げ、供養米300石を寺に布施すれば目が開くと言いました。

沈清は父親の目を治すためならばと、海に供える乙女を求め歩いている商人に米300石と引き替えにわが身を売りました。

沈清は船に乗せられ、ある沖合で人身御供として海に投ぜられました。ところがこれを知った天帝が哀れんで、彼女を救いました。蘇った沈清は国の王妃に迎えられました。

一方、盲目の父親は後妻を迎えましたが、後妻が

家財を使い果たしたために、暮らしが立たなくなりました。

王妃になった沈清は、父親のことが忘れられず、国中の盲人を招いて宴を催しました。

宴に呼ばれた盲目の父親は、死んだとばかり思っていた娘に不意に声をかけられ、あまりにも意外な邂逅にびっくりし、その途端に目が開きました。

95. 『春香伝』はどんな作品ですか？

『春香（チュンヒャン）伝』は口伝説話に基づき、最初パンソリ（語り歌）の台本として創作され、のち小説化しました。

全羅道南原（ナムウォン）府使（長官）の子李夢龍（リモンリョン）は、景勝の地の広寒楼（クァンハンル）へ遊びに出て、キーセン（妓生）あがりの月梅（ウォルメ）の娘成春香（ソンチュンヒャン）を見初めます。春香はわが身分を思って李夢龍の愛を受け入れませんが、その熱烈な求愛に心が動かされて結婚を約束しました。

その後、李夢龍はソウルに呼び戻された父親に従って上京しますが、春香は身分の低いキーセンの娘のことで、同行を許されませんでした。

後任の南原府使卞学道（ピョンハクト）は悪質無能な男で、赴任すると、まつりごとには目もくれず、真っ先に官妓の

点呼を行い、南原に春香という美女がいると聞いて、春香に、自分の身近にはべるよう要求しました。しかし、彼女はきっぱりはねつけました。

業を煮やした卞学道は春香を獄につなぎ、自分の誕生祝いの日を選んで処刑することにしました。

他方、父親に従って上京した李夢龍は学問に励み、科挙に応募して首席合格し、暗行御史（隠密検察官）に任ぜられ、南原地方にやって来ました。

暗行御史により、悪虐の限りを尽くしていた卞学道は罷免放逐の刑に処され、春香は救出されます。

『春香伝』は、封建社会における両班（リャンバン）（貴族）と常民の間の身分上の不平等を批判し、若い男女が財産や身分の違いにかかわりなく愛し合い、結ばれるべきことを主張しています。

封建的身分制度を批判し、両班階級の専横と腐敗相を暴露した『春香伝』は、朝鮮古典小説の代表作の一つで、世界に広く知られています。

96. 朝鮮の民俗工芸にはどんなものがありますか？

朝鮮の民俗工芸には、陶磁工芸、木工芸、金属工芸、螺鈿漆工芸、刺繍、竹細工、画角工芸、石工芸、

編組工芸、紙細工などさまざまなものがあります。

朝鮮の民俗工芸の装飾模様は、人々の生活に親近な植物模様、動物模様、幸福と長寿を念願する意味の十長生模様、文字模様、幻想模様、幾何学模様などいろいろな内容のものがあります。

97．陶磁器工芸はどう発展してきましたか？

朝鮮で土器は原始時代から作られ、陶器は古代に、磁器は中世に現れました。

朝鮮の陶磁工芸で最も有名なものは高麗磁器です。

98．高麗磁器はどんな磁器ですか？

高句麗の陶磁工芸伝統を継いで大きく発達した高麗時代(918～1392)の陶磁工芸は、そのすぐれた芸術性のゆえに、世界の中世の陶磁器史上特出した位置を占めています。

高麗磁器は、青磁、白磁、黒磁、辰砂磁器など幾つかの種類がありますが、高麗磁器の代表格は青磁です。

青磁は翡色青磁、翡色磁器の名でも広く知られていました。それは磁器が翡翠の珠のように美しい色

を持っていたからです。

高麗の翡色青磁は早くも10世紀初めに出現しています。

99. 沙里院市民俗通りはどんな通りですか？

沙里院（サリウォン）市民俗通りは、黄海北道沙里院市の景岩（キョンアム）山のふもとにあります。

朝鮮瓦をふいた民俗通り門を中心に左右に広がる民俗通りには、朝鮮民族の5000年の悠久の歴史と卓抜した才能を物語る直観資料や代表的な文化遺産の模型が展示されています。その中には、朝鮮民族特有の古代墳墓形式である支石墓の模型、最古の金石文遺産の一つである広開土（クァンゲト）王陵碑の模型、世界最古の天文台として知られている瞻星台（チョムソンデ）の模型などがあります。

すべての建物が朝鮮式になっている民俗通りには、ユッノリ、碁、朝鮮将棋などが楽しめる民俗娯楽場もあります。また、チジム屋、チャルトク屋、マッコリ屋など民族料理を専門に出す食堂や朝鮮服店、高麗薬房（薬局）などもあります。

100．朝鮮民俗博物館はどんな博物館ですか？

朝鮮民俗博物館は、民俗遺物と補助の視聴覚資料を通じて、朝鮮の民俗伝統と良風美俗についての正しい認識を抱かせるための博物館です。

博物館には、先行時代各部門の生産風習資料や衣食住生活風習、家庭における礼儀作法や挨拶法、民俗遊戯と民族音楽などを見せるさまざまの民俗遺物と民俗関係の視聴覚資料が展示されています。

生産風習部分には、農耕風習を見せる資料、つまり骨鍬、石鎌など原始時代の農耕用具をはじめ、それ以後の時代の各種形態の地方別農耕生産用具が陳列されています。

ほかにも、骨の折れる面倒な農作業を助け合うトゥレ、プムアシなどの労働互助班やソギョリ（役牛共同利用班）など集団的農耕風習を見せる資料が展示されています。

諸分野における手工業生産の実態を見せる資料の中には、原始時代の紡錘車をはじめとする手工業的な機や、これらの機で織られた麻地、木綿地、カラムシ織り、絹布、錦などの布地が展示されています。

有名な高麗青磁や朝鮮封建王朝時代の白磁など

の展示品もあります。

　ほかに、各種の鍛冶用具、真鍮器の製作用具、金属工芸品、それにたんす、櫃、鏡台、食膳などの家具や編組、馬のたてがみと尾の毛、竹や石などの工芸品も展示されています。

　食生活風習部分には、摺り石などの原始時代の食生活用具、高句麗古墳壁画に見られる各種の台所用品、食器、食膳など民族固有の食生活用具、平壌冷麺など地方別の名のある飲食物、飴・菓子類、飲み物、膳立ての風習を見せる７楪飯床、12楪飯床などが展示されています。

　衣服風習部分には、高句麗時代から高麗時代、朝鮮封建王朝時代までの男女の階層別、職業別の衣服、かぶり物、履き物、腰飾り、かんざし、指輪、粧刀(装身用小刀)などの装身具が展示されています。

　住居生活風習部分には、朝鮮民族固有の暖房施設であるオンドルの発生と変遷を見せる資料や各時代、各地方の住居の基本形態と模型、台所と各室の構造などが展示されています。

　家庭礼儀作法部分には、父母を尊敬し、わが子を愛し、貧しい家庭でも子女教育に心がけた睦まじい

家庭生活風習を見せる資料などが展示されています。満１歳の初誕生祝い、一般の誕生祝い、結婚式、還暦祝い、葬礼と祭祀の風習を見せる資料などが、今日の社会主義的生活様式を見せる資料と対照させて展示されています。

民間娯楽部分には、以前の民俗祝日になされた遊戯や高句麗時代の弓術、馬術、シルム（朝鮮相撲）などの競技、知能較べ、歌舞、子供たちの遊戯など、伝統的な興味ある楽しい民俗遊戯を見せる大型屏風や模型、視覚資料が展示されています。

音楽部分には、高句麗古墳壁画に見られるいろいろな楽器の模造品や弦楽器、管楽器など旧来のものと現代的に改良されたものを並べて展示されています。

朝鮮民俗博物館は、世界各国で朝鮮民俗展覧会を開催して朝鮮人民の風俗を紹介し、同時に外国の民俗博物館と経験を交換するなど、友好協力関係を発展させています。

朝鮮豆知識(7)
(民　俗)

総編集	金志豪
執　筆	厳香心
翻　訳	金時習　陳初燕
レイアウト	方成姫　趙鮮香
イラスト	金恩正
発行所	外国文出版社
発　行	チュチェ106(2017)年5月

ㄱ-7835017

E-mail：flph@star-co.net.kp
http：//www.naenara.com.kp